

県内学校ミニ・ニュース

(鋸南町立鋸南中学校)

本校は、平成6年に旧鋸南一中・二中が統合して開校し、本年度で創立30周年を迎えます。鋸山や菱川師宣ゆかりの地など、地域の名所を生かし、鋸南町の歴史・文化・特性を学ぶ「鋸南ふるさと学習」の実施が本校の特色ある教育の柱となっています。さらに近年では、特に災害への対応に力を入れています。令和5年度は鋸南町として県の「命の大切さを考える防災教育公開事業」の指定を受け、拠点校の鋸南小学校、鋸南幼稚園とともに、災害安全に関する取り組みをさらに深める活動をしました。

校内研修では、「自ら考えて行動できる生徒の育成ー防災教育を通してー」を研究主題として、様々な場面を想定した活動をしました。生徒が自ら考えて「自助・共助・公助」ができるようになることを目指し、次のような取り組みを行いました。

①体験活動

初期消火・煙体験



新聞紙スリッパ作り・避難所設営



火起こし体験・町内フィールドワーク



AED講習・応急処置実習



避難訓練や校外学習、体育の授業などで、消防署や町ボランティアガイド等に協力いただき、普段の学校生活では得られない体験を行いました。災害時に自分たちができることをより身近に感じてもらえるように実施しました。

②安全教育・地域学習

総合的な学習の時間や社会科でも、医師や町役場防災対策監など外部の関係機関とも連携をして、学習を進めました。

1月に起きた能登半島地震の際には、冬休み明けすぐにもかかわらず生徒会を中心に全校で募金活動が始めるなど、行動面にも表れました。日頃の意識をさらに高め、防災を自分事、身近な事として考えられる学校をこれからも目指していきます。

応急処置学習



防災基礎学習

